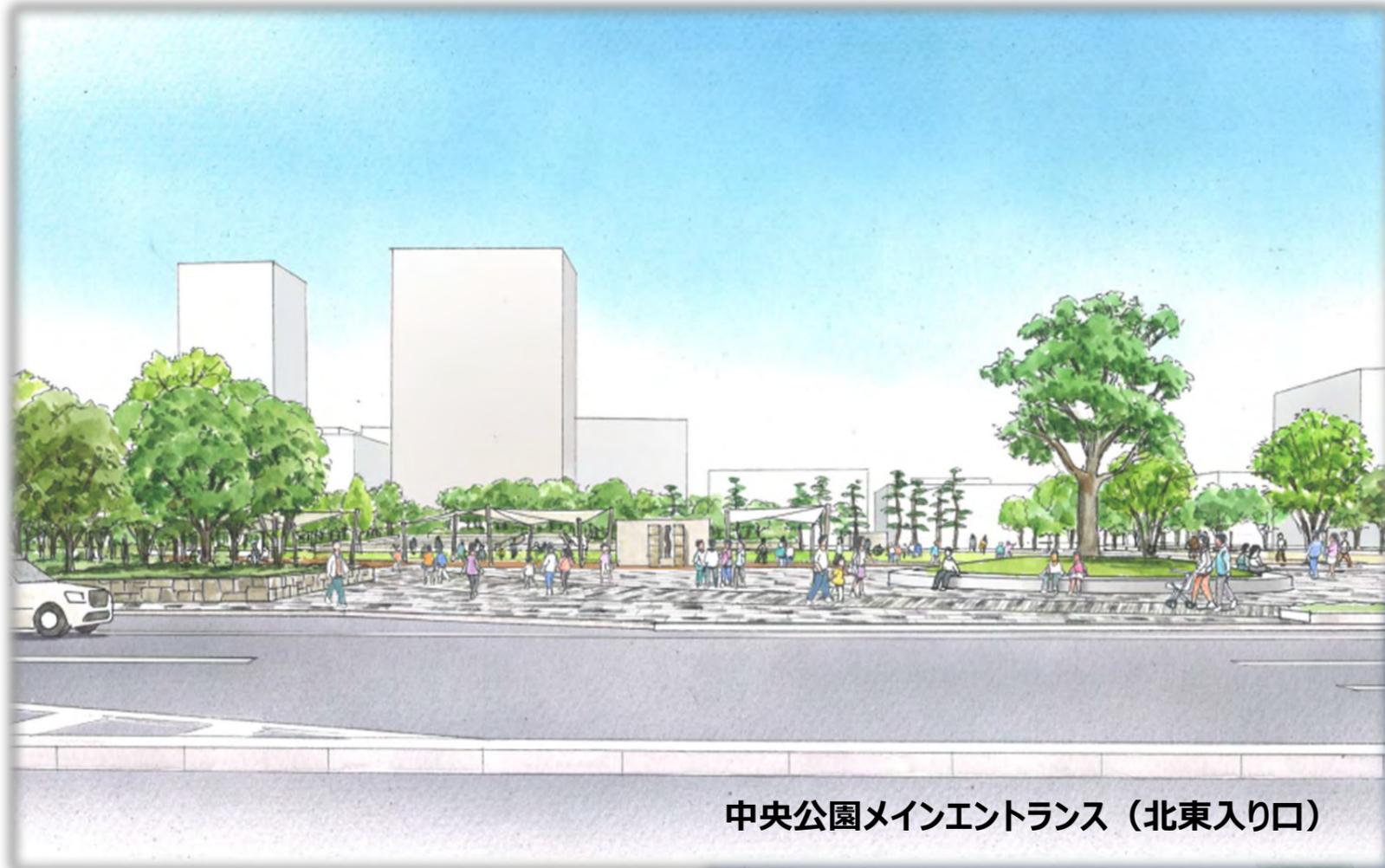


議事2 中央公園再整備基本設計の考え方について

資料2



中央公園メインエントランス（北東入り口）



芝生広場から南西エントランスを望む（ライトアップイメージ）

目次

- 1 中央公園再整備基本設計の考え方（第2回検討委員会資料抜粋）**
- 2 全体ゾーニングの考え方**
- 3 主要公園施設の概要**
- 4 歩行者動線の考え方**
- 5 彫刻・モニュメントについて**
- 6 夜間利用・夜間景観の考え方**
- 7 植栽計画の考え方**
- 8 緑地面積・緑被率について**

1 中央公園再整備基本設計の考え方（第2回検討委員会資料抜粋）

中央公園再整備では、老朽化した公園施設の更新+5つの取組により、市の新たな顔となる魅力的な公園を目指します。



2 全体ゾーニングの考え方

【施設配置の考え方】

- 公園の歴史、みどり、**既存施設を可能な限りいかした施設配置**にする。
- 商店街側（中央通り側）に**メインエントランス**を設け、歩道と公園に一体性を持たせることで、公園内への動線を確保する。
- 公園中央部に**多目的ひろば**（芝生広場）を設け、その南側に3つの広場（木陰ひろば・キッズ広場・わんぱくひろば）を配置する。
- 公園北側に**カフェ**を配置し、公園の教養施設である**アイバル香川**との連携により、にぎわいの相乗効果を発揮させ、芝生広場と一体となった**シンボルゾーン**を形成する。
- 公園の南エリア及び西エリアは、四季折々の自然とふれあえる空間を確保する。

●多目的芝生ひろばイメージ図



“多目的に利用できる芝生空間”

高松まつりなど大規模イベントをはじめ、持ち込みイベントなど多様なニーズに対応する。平常時は多世代が集う市民憩いの場、災害時は、一時避難地としても機能する。

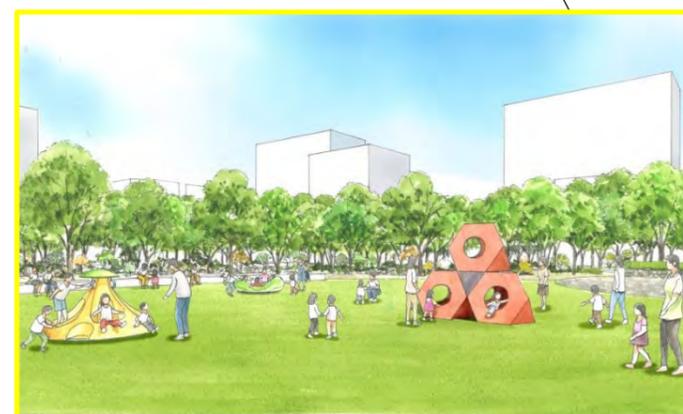
●わんぱくひろばイメージ図



“児童（6歳から12歳）を対象とした遊具ひろば”

石の広場との階段部を活用し“人研ぎすべり台（モルタルの表面を滑らかに研磨して石のように仕上げたすべり台）”を設置する。

●キッズひろばイメージ図



“幼児（3歳から6歳）を対象とした遊具ひろば”

イサム・ノグチ遊具と併設し“インクルーシブ遊具（多様な属性やニーズに対応した遊具）”等を設置する。造形的なデザインを採用することで、視覚的にも楽しめる遊具ひろばとする。

●北側エントランスイメージ図



“メインエントランス”

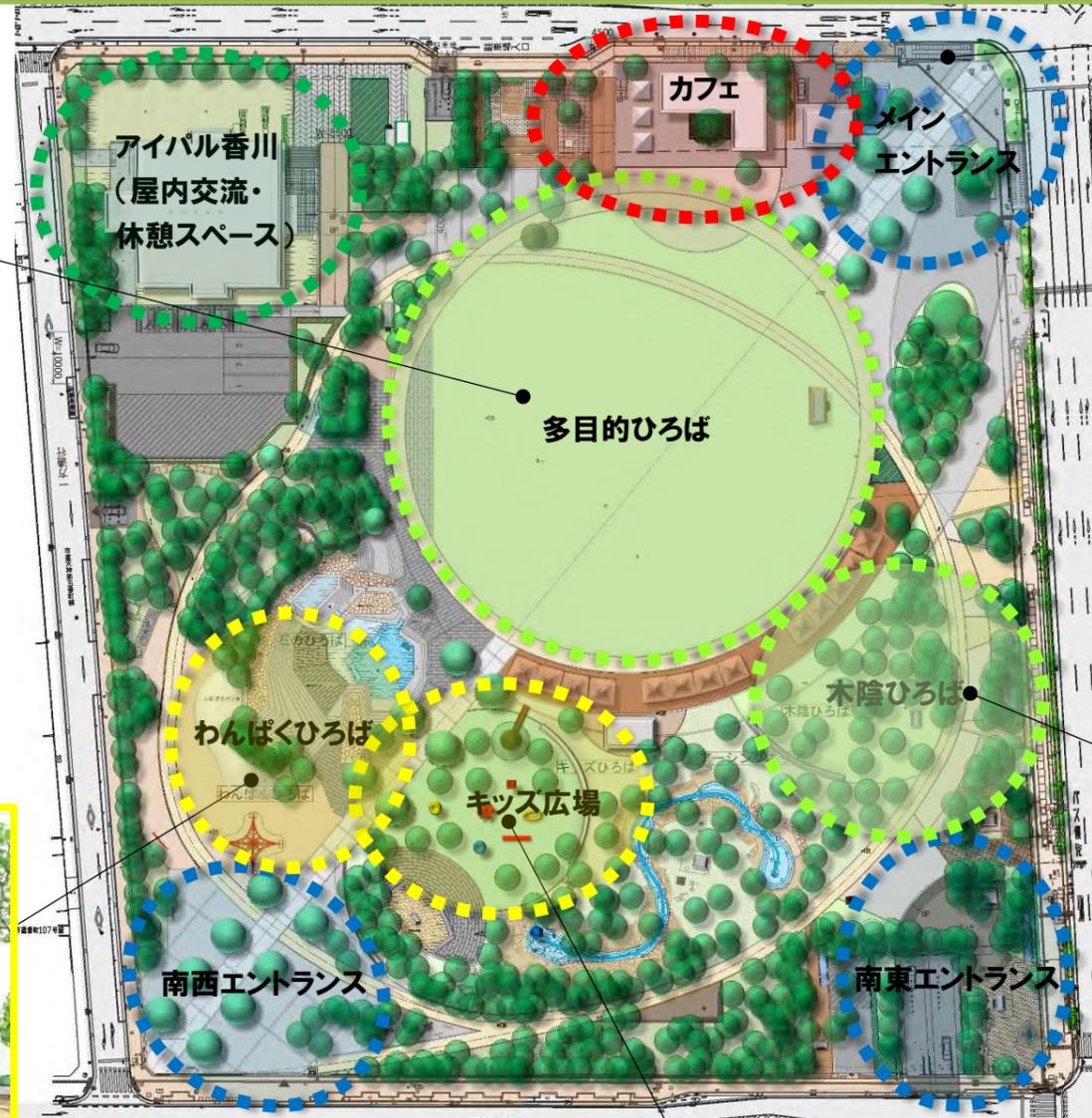
中央通りから園内が見渡せるよう開放的な空間にリニューアルし、段差も解消しスムーズにアプローチが可能となる。対角線上に軸線を設け、ひとの流れや新たにビスタ（見通し）景観を創出し、景観の変化を楽しむ。舗装広場ともなり、キッチンカーやフリーマーケットなど、にぎわいスペースとしても活用できる。

●木陰ひろばイメージ図



“緑陰を楽しむ空間”

現況樹木を可能な限り残し、夏場の緑陰を確保する。休憩の他、ヨガ・ピラティス・体操など、健康づくりのスペースとしても機能する。



3 主要公園施設の概要

⑩ アイバル香川

多文化共生の新たな取組として、外国語絵本の読み聞かせや外国語図書コーナーなどの設置を検討するほか、カフェと連携したサービスの提供を行う。



⑨ 身障者用平面駐車場

身障者等が気軽に訪れることのできる環境づくりとして、アイバル南側とカフェ東側に身障者用駐車場を設置する。

⑧ トイレ

誰もが利用できるデザイン性にも配慮したシンボリックなトイレをカフェの東側と公園中央部に設置する。
※公園中央部のトイレについては、高松市職員（建築職）によるデザインコンペを実施し、デザインを決定する。

⑦ 水辺空間（噴水）

子ども等が遊べる水辺空間（噴水）を設置する。また、噴水をライトアップし、夜間景観を演出することで公園のイメージアップを図る。



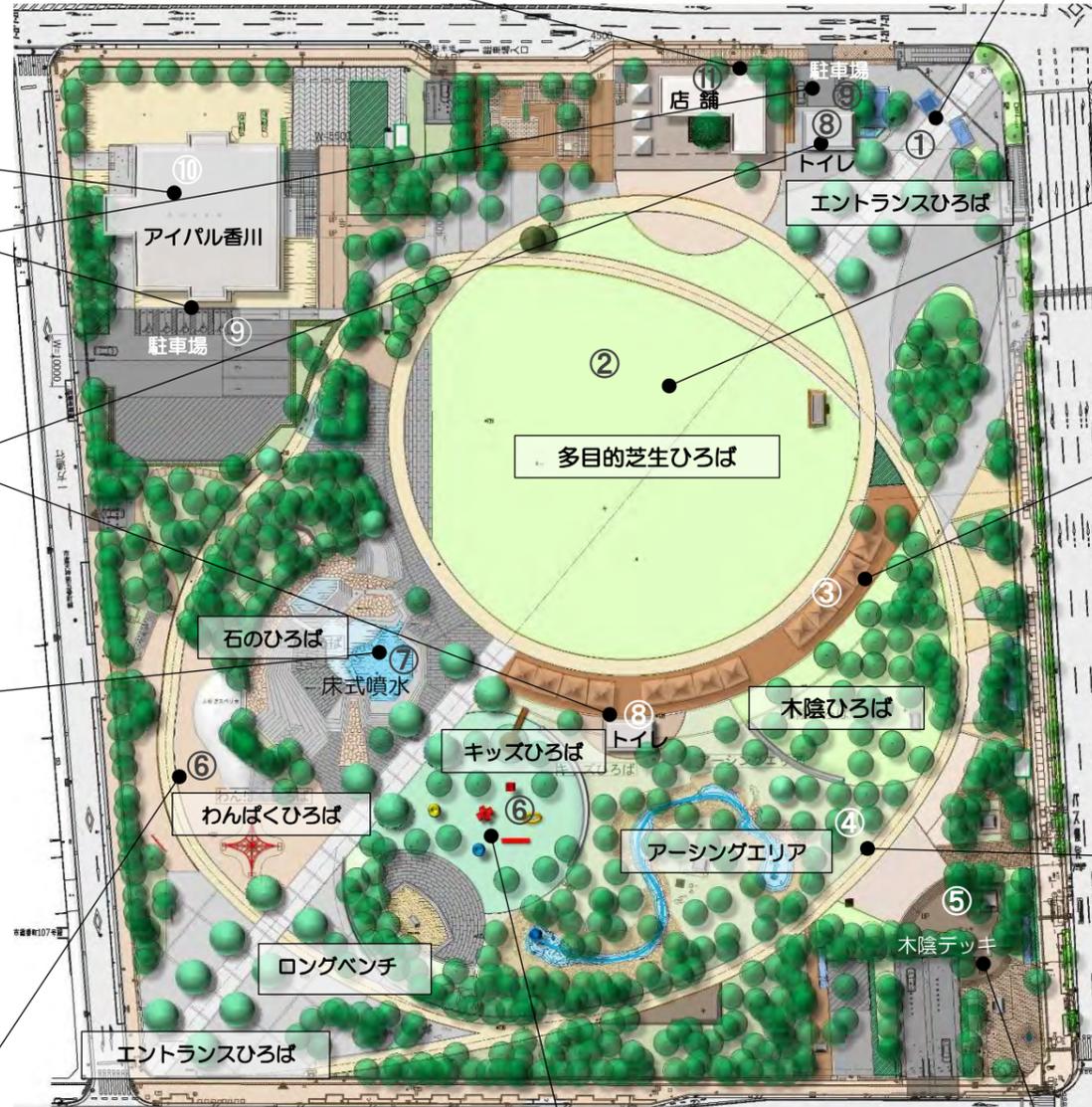
⑥ 遊具

わんぱくひろばに、石の広場の階段部を活用し“人研ぎすべり台”を設置する。また、キッズ広場には、イサム・ノグチ遊具と併設して、インクルーシブ遊具などシンボルとなる遊具を設置する。



⑪ カフェ

周辺の樹木や芝生広場と調和したデザインで、誰もが安心して利用できるバリアフリーのカフェを設置。店舗内には交流スペースを確保するとともに、店舗を活用した市民イベントの開催等新たな賑わいを創出する。



① メインエントランス

まちとの一体感・連続性のある動線を確認し、周辺との視覚的つながりを創出。公園の対角線（軸線）上に、まっすぐな樹形や紅葉が美しいアメリカワウを植栽する。



資料提供：名古屋市みどりが丘公園

② 芝生広場

芝生広場内に仮設ステージの設置スペースを確保するとともに、広場の外周に、ウォーキングコースを整備する。
※仮設ステージの設置場所は舗装し、普段は、キッチンカーや子供等の遊び場等多目的に利用する。

③ 休憩施設

市民等の日常の休憩スペースを確保するため、シェードシェルターやゆったりベンチを設置する。



④ モニュメント・彫刻 ※別紙参照

園内にあるモニュメント（彫刻・芸術作品等）は基本的に保存し、公園の魅力創出に活用していく。



水原茂・三原脩立像

⑤ 木陰デッキ

高低差をいかして、見晴らしの良い木陰デッキを設置する。



- 修景施設 別紙のとおり
- 樹木 別紙のとおり

5 彫刻・モニュメントについて

<彫刻・モニュメントの考え方>

- ・現在、公園内には、31基の彫刻・モニュメントがあり、公園再整備においても、貴重な地域資源として、公園の魅力や価値の向上に活用していく。
- ・再整備において影響があるものについては、設置者や制作者と協議しながら、公園外も含め移設場所を検討する。

②中河与一文学碑



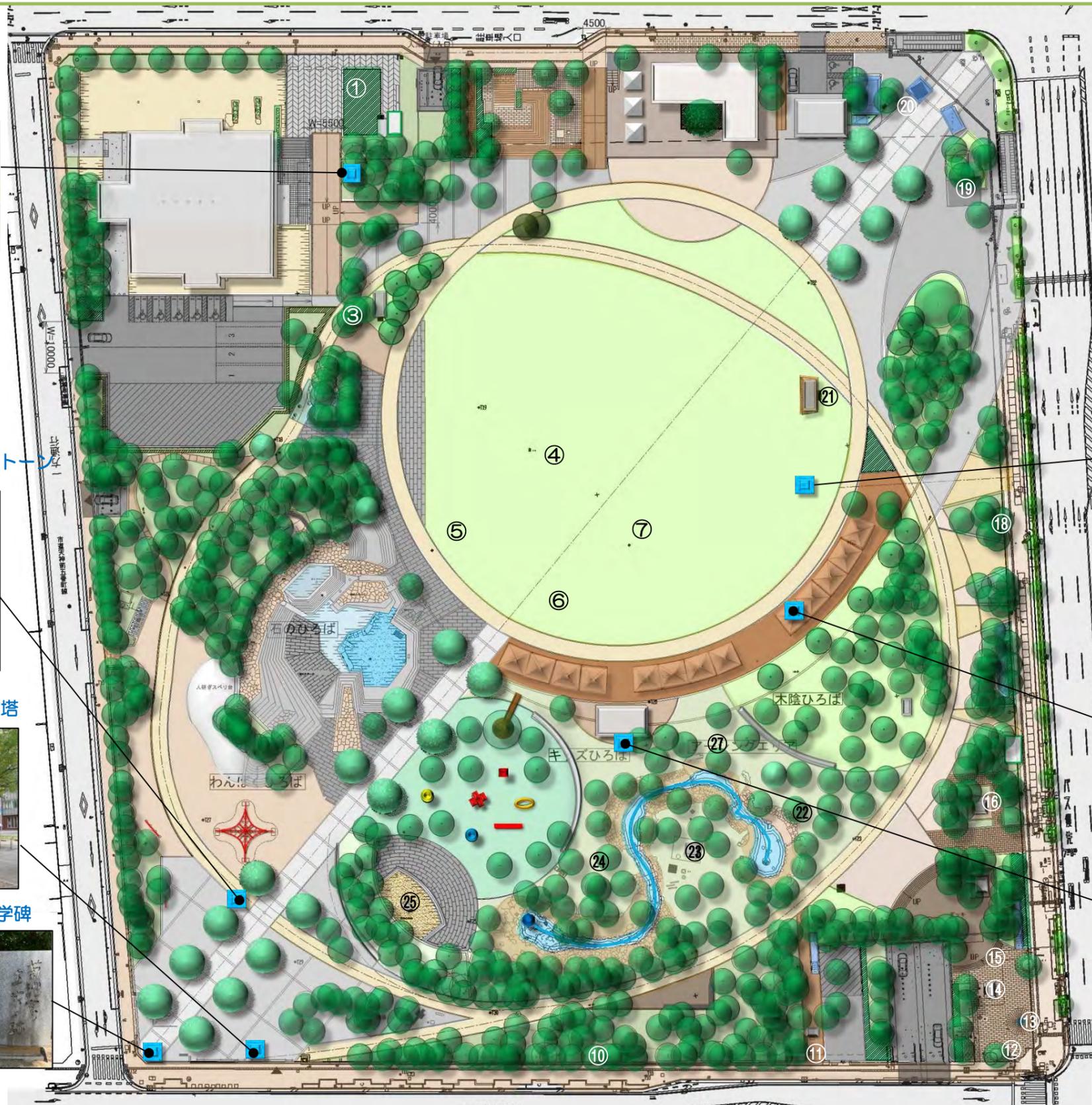
⑧パカッ・ポッコ・ストーン



⑲時計塔



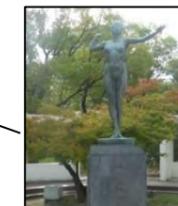
⑨菊池 寛 文学碑



⑳時計塔-1



⑰大気



㉔女の子二人



番号	モニュメント名称
①	しし頭
②	中河与一文学碑
③	小河謙三郎翁陶像
④	ホームベース
⑤	1塁ベース
⑥	2塁ベース
⑦	3塁ベース
⑧	パカッ・ポッコ・ストーン
⑨	菊池 寛 文学碑
⑩	高松高等小学校跡石碑
⑪	玉楮 象谷 坐像
⑫	棕園先生遺愛の碑
⑬	源泉(山田正治作)
⑭	國東 照太翁 立像
⑮	復興区画整理事業竣工記念碑
⑯	菊池 寛立像
⑰	大気
⑱	モニュメント
⑲	ハゲさん
⑳	浄願寺跡 石碑
㉑	伸
㉒	水原茂・三原脩立像
㉓	タイムカプセル
㉔	石あかりロード
㉕	平和の群像「あけぼの」
㉖	女の子二人
㉗	サヌキ
㉘	時計塔-1
㉙	時計塔-2
㉚	石碑(市木(黒松))
㉛	光のモニュメント

■ : 整備に伴い影響が想定されるモニュメント 5

計画図面については現段階のものであり、詳細は今後変更となる場合があります。

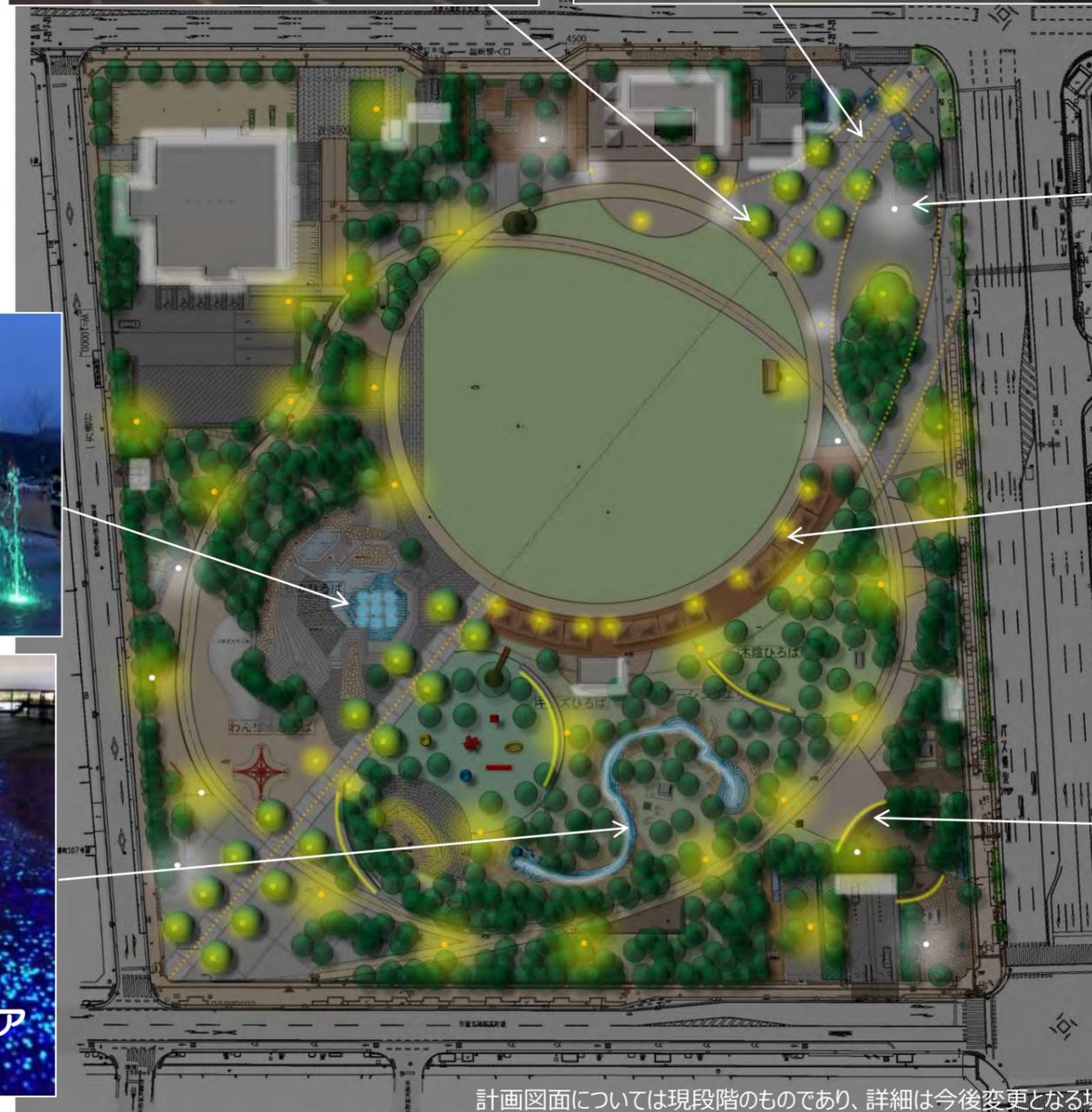
6 夜間利用・夜間景観の考え方

【夜間利用・夜間景観の考え方】

- 夜間においても、来街者等の交流の場となり、安心してつづげる、空間を提供する。
- 照明による夜間景観づくりを行い、都市全体のイメージアップを図る。

凡例

- : アップライティング照明
- : ライン照明
- - - : フットライト照明(埋込式)
- : 照明灯(スポットTYPE)
- : スポットライト(間接照明)
- : 噴水ライトアップ照明
- : ソーラー照明灯
- : 陰影照明灯
- : 建築照明
- : アーシングエリア(光のせせらぎ)
蓄光材によるライトアップ



※アーシングエリア(光のせせらぎ)
夜間ライトアップ(蓄光材)により、
水辺の光を演出

計画図面については現段階のものであり、詳細は今後変更となる場合があります。

7 植栽計画の考え方

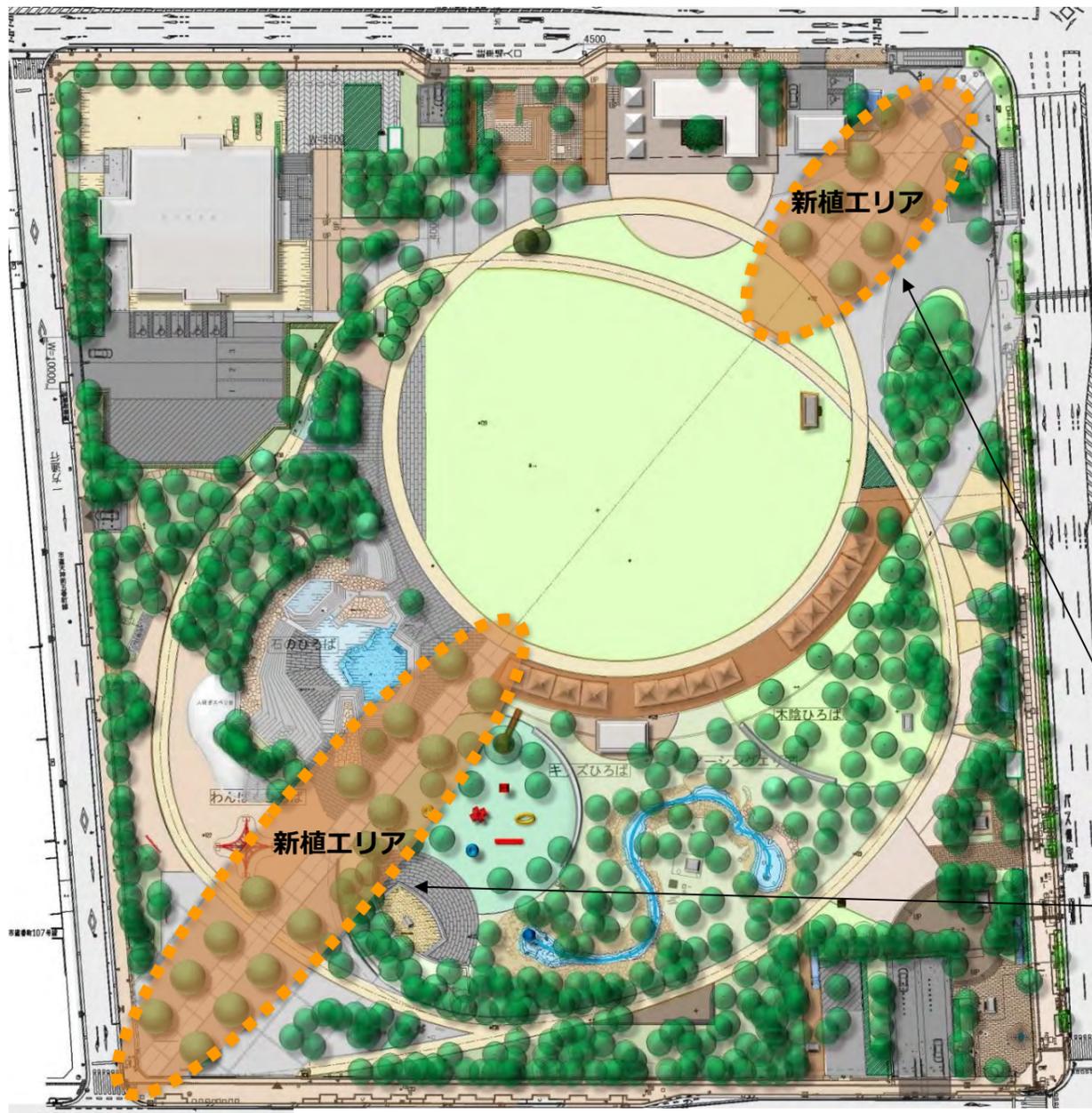
〈植栽計画の考え方〉

○公園内の既存樹木（高木約1,400本）のうち、施設整備により支障となる樹木のほか、生育環境の改善（間引き）や防犯上問題となっている樹木を除き、**基本的には保全**することを基本方針とする。

○撤去した樹木については、公園内外への**移植や再利用・資源化等**を検討する。

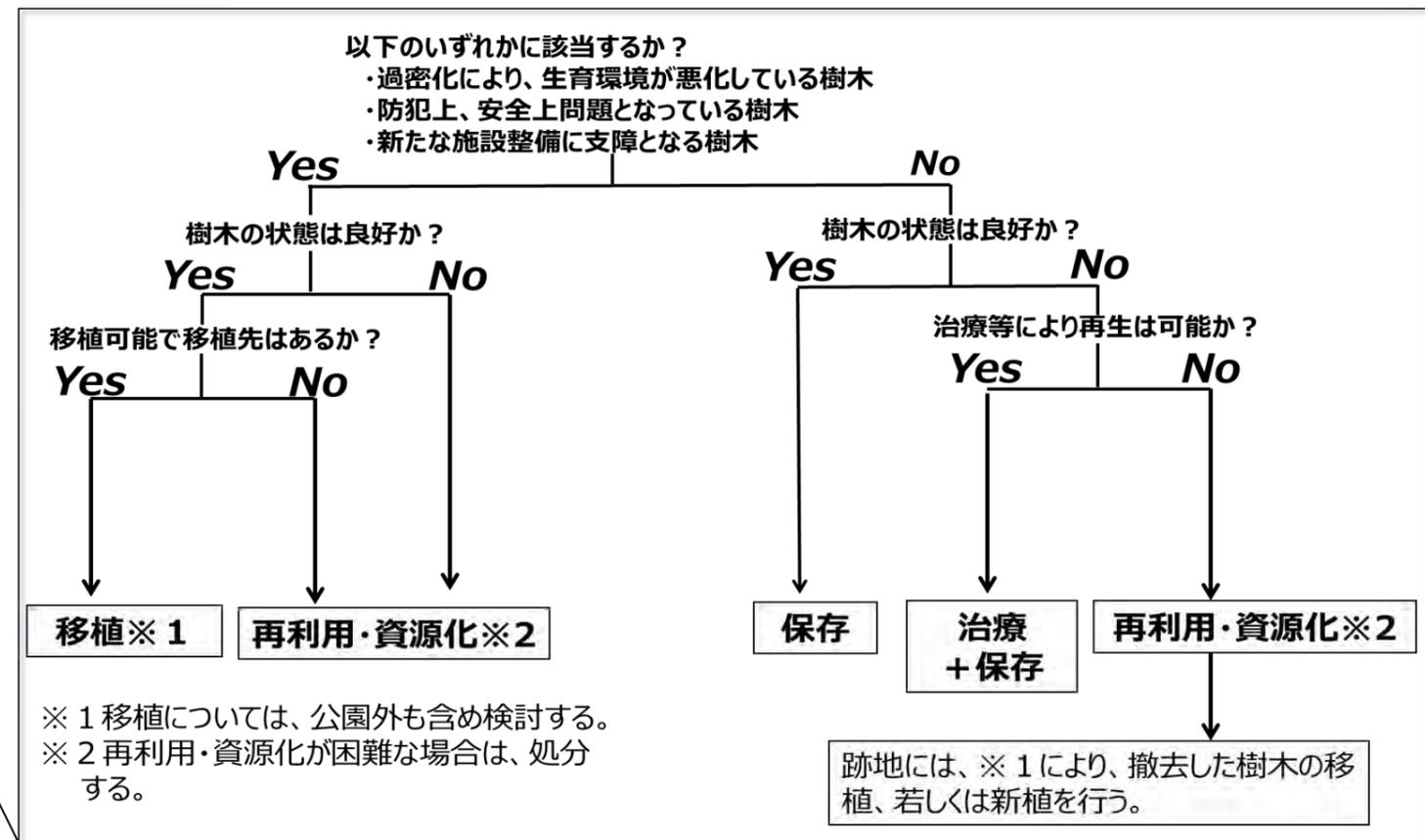
○**緑量の少ない箇所には捕植を行う**とともに、公園の軸線となる北東から南西への対角線上には**新植を行い、新たなランドスケープを創出**します。

○再整備後の樹木（高木）の総数は、**現在の7割程度になる見込み**。



計画図面については現段階のものであり、詳細は今後変更となる場合があります。

■既存樹木の考え方



■新植の考え方

公園の対角線（軸線）上に、まっすぐな樹形や紅葉が美しいアメリカワウを植栽する。



資料提供：名古屋市みどりが丘公園

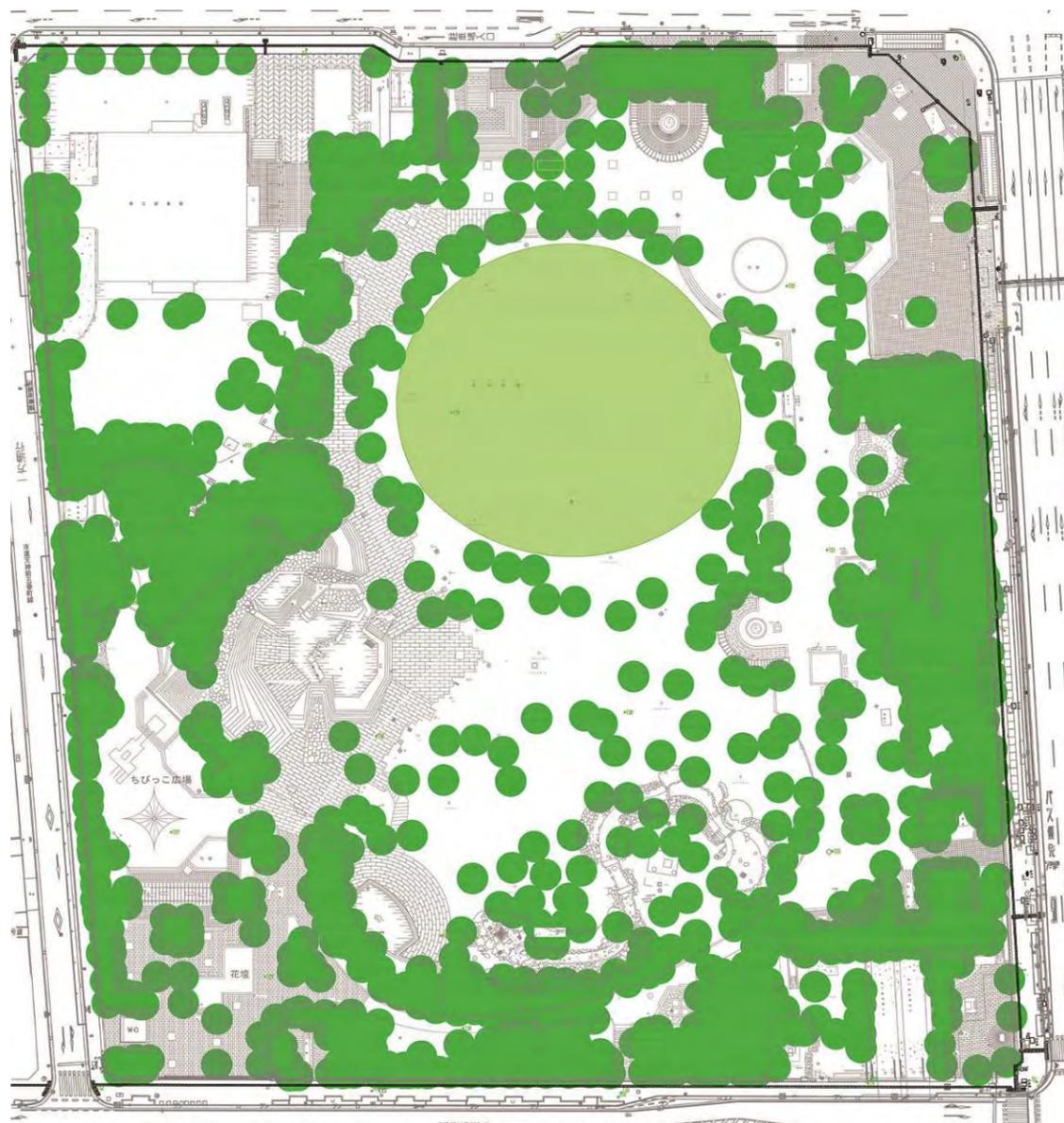
8 緑地面積・緑被率について

【公園全体の緑地面積確保の考え方】

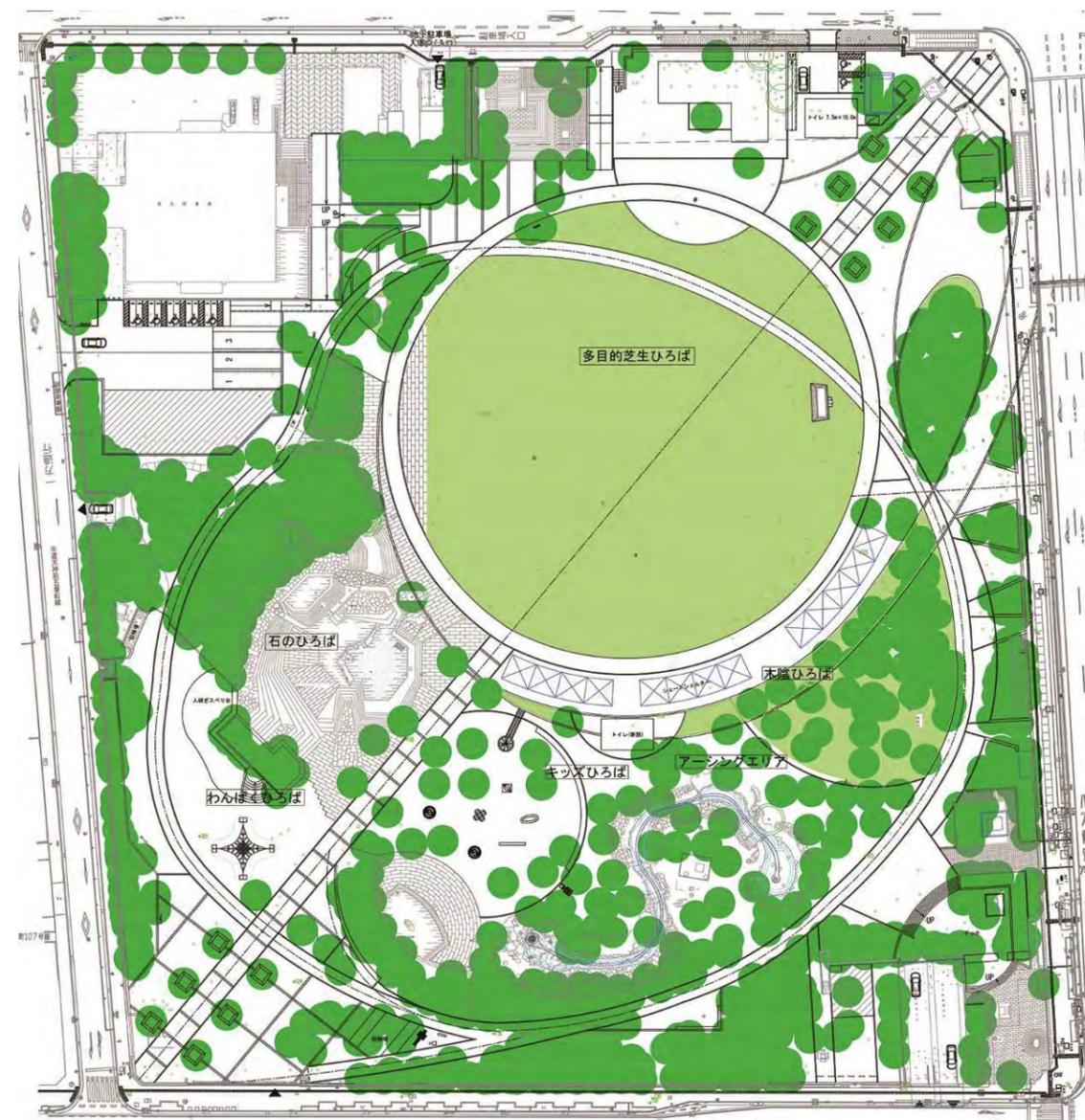
緑地は、美しく潤いのある都市空間の創出や、ヒートアイランド現象の緩和など都市環境の向上に不可欠な施設である。
また、樹木が創出する緑陰は、日差しを遮り、快適な空間を利用者に提供するなど、公園施設として重要な役割を果たしている。
そのため、中央公園再整備にあたっては、できる限り既存樹木を残すとともに、新たな植栽や移植、芝生化を行い、
現在と同程度（約19,000㎡）の緑地面積・緑被率（上空から見た際の緑に覆われている面積割合）を確保することを基本方針とする。

■上空から見た際の緑に覆われている面積（約19,000㎡）

【現況】



【計画】



計画図面については現段階のものであり、詳細は今後変更となる場合があります。